

静岡文化芸術大生ら チョコ企画 活動紹介 浜松市長と意見交換

浜松市の鈴木康友市長と市民が昼食を取りながら意見交換する「チャット!やらまいか」が2日、市役所で開かれ、静岡文化芸術大で「はままつチョコプロジェクト」に取り組む学生6人と教員2人が活動を紹介した。同プロジェクトは、発展途上国の生産品を適正価格で購入して労働者を守るフェアトレード運動の一つ。学生



はままつチョコプロジェクトの活動を紹介する静岡文化芸術大の学生＝浜松市役所

はフィリピンからカカオ豆を輸入し、チョコレート商品の開発に取り組んでいる。菓子メーカー「春華堂」(中区)の協力を得て試作

「どんなチョコなら買いたいか」などと活発に質問。商品完成後は市役所ロビーで販売したいとの希望も伝えられた。鈴木市長は「市はSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)の活動に力を入れていく。フェアトレードは大事な取り組み」と語り、市民への啓発の面で連携を呼び掛けた。

中で、12月～来年2月に販売する予定。

学生は鈴木市長に「フェアトレードがもっと市民に普及するにどうしたらよいか」